

1 委員会開催状況

(1) 委員会 10 回

(2) 検討事項

- ①令和 5 年度教育委員会活動計画の検討
- ②令和 5 年度研修申込状況について
- ③令和 5 年度研修実施状況について(実績・評価)
- ④令和 6 年度研修計画の検討
- ⑤令和 6 年度事業計画の検討
- ⑥教育委員会規程・内規の検討

2 活動報告

(1) 研修会等の開催及び次年度の研修企画

令和 5 年 6 月に日本看護協会が公表した生涯学習ガイドラインを基に、令和 6 年度の研修では、基本的な知識が習得できる研修、地域包括ケアシステムにおける急性期から生活へのつながりを意識した研修等、看護職が主体的に各々のキャリアを形成できる研修を、カテゴリーに分けて企画検討した。

特に、管理者研修、指導者研修を充実させ、感染及び医療安全に関する研修企画では、他の委員会との横のつながりを意識し、当協会全体としての研修の重複を避け、スリム化、差別化する等見直しを行った。

オンデマンド研修、ハイブリッド研修、アーカイブ配信研修等、時代のニーズに対応した新たに多様な学習機会を柔軟に提供し、「今、学びたい」を叶える体制を強化し実施した。(表 1)

表 1. 令和 5 年度 教育委員会 研修実績

分類	研修方法	回数	日数	定員数	応募者数	受講者数
分類 1	集合研修	16	17.0	1,990	1,973	1,602
	オンライン研修	17	14.5	2,610	2,520	1,957
	オンデマンド研修	11	—	—	2,630	2,522
	アーカイブ配信研修	3	2.5	—	172	144
分類 3	集合研修	9	13	1,140	1,148	1,039
	オンライン研修	3	3	450	290	259

3 今後の課題・検討事項等

- (1) 令和 5 年度と同様に情勢に柔軟に対応すべく新しい研修スタイルの展開を継続し、基礎的内容はオンデマンド研修、発展的内容は対面研修などの構成を検討する。
- (2) 申込や受講状況、アンケート結果、及び委員や関係者による受講評価、これらの指標を参考に、合わせて日本看護協会の研修分類や教育目標の網羅性を踏まえた研修内容を検討する。
- (3) 委員会(教育、新人、感染、医療安全)を超えた重複内容による研修のスリム化、区(差)別化を一層図るとともに、看護実践能力習熟段階(旧クリニカルラダー)の対象の幅についても検討を行う。
- (4) 県内のリソースナース(高度実践看護師など)を活用し、近隣施設とのつながりの強化や顔の見える関係の構築の機会となる研修を企画する。
- (5) 福岡県看護協会が企画するというスケールメリットを活かし、著名な全国の講師を招聘することで、最新の情報に触れる機会を設ける。
- (6) 「看護職の生涯学習ガイドライン」や「看護師のまなびサポートブック」の周知活用にも貢献できる研修展開や広報活動を行う必要がある。